

平成27年度民間団体奨学金募集一覧

| No | 団体名                                | 対象   | 形態                        | 金額  | 提出先・応募締切日  | 主な条件・資格等  | 併用  |
|----|------------------------------------|--|---------------------------|---|--|---|---|
| 1  | (公財)沖縄県国際交流・人材育成財団                 | 大学生<br>大学院生                                    | 貸与無利子                     | 学部生:月額4万5千円<br>院生(修士・博士前期)<br>月額7万円<br>(博士後期, 博士医・獣医学)<br>月額8万円 | (財)沖縄県国際交流・人材育成財団へ直接応募<br>平成27年4月14日(火)まで          | ・沖縄県内に住所を有する子弟で、国内の大学・大学院に在学している者。<br>ただし別科生、専攻科生、通信教育生、選科生、聴講生、科目等履修生、留年中の者は除く。<br>・日本学生支援機構、地方公共団体若しくは、民間育英団体等からの奨学金又は母子及び寡婦福祉法による修学資金の貸与を受けていない者。<br>※詳細はホームページをご覧ください。 <a href="http://www.oihf.or.jp/">http://www.oihf.or.jp/</a>  | 併願は可<br>(併用は不可)                               |
| 2  | 松尾金蔵記念奨学金基金                        | 大学院生<br>(留学生は対象外)                              | 給付                        | 年額 100万円  | 学務部学生支援課<br>平成27年4月15日(水)                          | 平成27年4月現在、修士課程及び博士課程1年次の大学院生で、文学・哲学(宗教学、美学、美術史を含む)・言語学、人文地理学、文化人類学、教育学、心理学、社会学、史学等(経・法を除く人文社会)を学ぶ以下に該当する者。<br>・平成27年4月1日現在、30歳以下の者。<br>・修士:家族の生計を支えるものの前年度年収又は本年度の見込みが原則800万円以下。<br>・博士:本人の前年度年収又は本年度見込みが原則250万円以下。<br>・日本学生支援機構を含む、他の奨学金を受給していない者(併願は可だが、採用後はどちらか一つを選択すること)。 | 併願は可<br>(併用は不可)                               |
| 3  | 公益財団法人<br>日本通運育英会奨学生               | 大学生<br>(1, 2年生のみ)                              | 貸与無利子                     | 自宅からの通学者<br>月額1万5千円<br>自宅以外からの通学者<br>月額2万円                      | 日本通運育英会事務局<br>平成27年4月20日(月)                        | ・無利子の貸与奨学金<br>※進学前または在学校の学校長推薦書が必要です。2年生で学長推薦が必要な場合は送付の1週間前には申し出てください。  | 可   |
| 4  | 公益財団法人<br>戸部眞紀財団<br>(大塚食品株式会社)     | 対象分野の学部3・4年<br>及び大学院生                          | 給付                        | 年額 60万円<br>(併給の場合は年額30万円)                                       | 本人が提出書類を揃え、<br>財団宛に郵送<br>期限:5月8日(金)17時必着           | ・対象の分野:化学・食品科学、芸術学、体育学、経営学を専攻する学部生、院生(2015年4月1日現在30才以下)<br>・奨学金は給付。返還の義務なし。<br>・卒業後の就職、その他一切については、本人の自由。<br>・給付期間は1年間を限度とする。<br>・申請には大学長、もしくは学部・研究科長の「推薦状」を必要とする。   | 可   |
| 5  | 公益信託「池田育英会トラスト」<br>(受託者:伊予銀行)      | 2年生以上の大学生<br>大学院生                              | 給付                        | 月額1万7千円   | 伊予銀行<br>平成27年5月8日(金)                               | ・愛媛県内の高等学校を卒業している方。または保護者(であったもの)が愛媛県内に居住している方。<br>・大学に在籍する方(新入生は対象外)、大学院生(学年不問)。<br>・学業・人物ともに優秀で、経済的支援の必要な方。<br>※申請書は伊予銀行ホームページからダウンロードしてください。   | 可   |
| 6  | 公益財団法人<br>日揮・実吉奨学会                 | 理工系学科所属または<br>専攻の日本人大学生<br>・大学院生               | 給付                        | 年額 30万円<br>(給付期間:1年間)   | 岐阜大学からの送付のため<br>5月15日(金)厳守                         | <日本人大学生・大学院生向け給与奨学金>※医・歯・薬学系は除く<br>・理工系(理・工・農・獣・水産)に在学中の日本人大学生・大学院生。<br>・人物・学力ともに優れ、かつ健康であって、経済的に給与が必要であると認められるもの。<br>・原則として申請時点の年齢が30歳未満のもの。<br>・他の給付奨学金との併給可。※貸与奨学金を受けているものは1年間停止することで併用可。  | 可   |
| 7  | 鷹野学術振興財団奨学生                        | 「科学技術関係」を<br>選考している大学生<br>・大学院生                | 給付                        | 月額 5万円<br>(給付期間:1年間)  | 大学から一括送付の場合<br>5月11日(月)厳守<br>個人で送付する場合<br>5月15日(金) | ・国内の大学の大学生・大学院生で「科学技術関係」を専攻している学生<br>→平成27年4月1日現在大学1年生～3年生(6年制は5年生まで)もしくは大学院修士課程の1年次に在籍<br>【科学技術の範囲】:電気電子工学、光学、画像処理、機械工学、物理学、情報工学、材料科学、化学関連、医療機器関連、健康福祉関連、環境エネルギー関連、農学・機能性食品等<br>・卒業後に製造業への就職を希望しているもの。<br>・日本国籍を有していない方の場合は、日本語の読み書きに習熟していること。                               | 不可<br>(学生支援機構奨学金との併給は可)                       |
| 8  | 一般社団法人<br>イハラサイエンス夢創造支援<br>センター奨学生 | 平成27年4月1日現在<br>工学部・教育学部<br>地域科学部の3年に在籍<br>するもの | 給付                        | 月額2万円<br>(給付期間:2年間)   | 学務部学生支援課<br>平成27年5月18日(月)                          | ・学業・人物ともに優秀で、経済的な事情により修学が困難であると認められるもので、2015年4月1日現在で岐阜大学3年生に在籍する工学部・教育学部・地域科学部の学生。<br>・「ものづくり」に関心があり、将来も「ものづくり」に夢や想いを持って関わっていききたいという意欲を持つもの。<br>・給付期間は最短修業年限の最終期まで。2年間を限度とします。<br>・募集については岐阜大学で1～3名程度。応募人数が大幅に多い場合は、日本学生支援機構の第1種採用規定に基づいて学内で選考する場合があります。                      | 可(ただし、日本学生支援機構の奨学金貸与を受けている場合は受給者証明書の写しの提出が必要) |
| 9  | 財団法人中村積善会                          | 大学生<br>大学院生                                    | 給費併用型                     | 7万円中<br>5万円を貸与・2万円が給付   | 学務部学生支援課<br>平成27年5月20日(水)<br>期限に注意<br>(申込者がいない場合も) | ・品行方正、学術優秀、身体健康で学資の支弁が困難と認められる者。<br>・他の機関で貸与奨学金を受けていない者。  | 可(但し)条件あり                                     |
| 10 | 公益信託<br>上野高子看護学生奨学金基金              | 看護学科学生   | 給付                        | 月額3万円   | 看護学科事務室または<br>学務部学生支援課<br>平成27年5月22日(金)            | ・岐阜県内の看護師・准看護師学校養成所に在籍する学生で平成27年4月1日基準で満35歳以下のもの<br>・向上心に富み、かつ成業の見込みがあるもの<br>・学業、人物ともに優秀であり、品行方正なもの<br>・経済的理由により、十分な教育環境に恵まれていないと認められるもの<br>・将来、岐阜県内での就業を希望しているもの<br>※詳細はホームページをご覧ください。   | 応相談   |
| 11 | 2016年度日本人対象<br>フルブライト奨学金           | 大学院生   | 支給                        | 往復渡航費、生活費、授業料、家賃、着後雑費、別送荷物、同伴家族に対する補助手当 等                       | 2015年4月1日～5月31日に<br>オンライン登録をする必要あり                 | ・日本国籍を有し、日本在住のもの。<br>・米国で支障なく学術活動が行えるだけの十分な英語能力があること。高いコミュニケーション能力があること。<br>※詳細はホームページをご覧ください。  |   |
| 12 | トヨタ女性技術者育成基金                       | 2015年度工学部1年生に<br>在学する女性又は高専から<br>編入した3年生の女性    | 卒業後の進路によって全額給付、半額給付、無利息貸与 | 大学卒業後の就職:240万円<br>大学院(修士)卒業後の就職:<br>360万円                       | 一般社団法人トヨタ女性技術者育成基金奨学給付窓口<br>平成27年6月12日(金)          | ・学業成績優秀で、将来ものづくりに関わる女性技術者として、また良識ある社会人として活躍していく意欲、熱意のあるもの。<br>・基金賛同企業が実施する育成プログラムに参加できる方。(申し込み時に1社を選択し、研究施設等見学・懇談会・インターンシップ等に参加することになります。)<br>・対象会社入社時は実質返済免除、製造会社(労災保険利率表が「製造業」に分類)入社は元金の半額を給付、それ以外の場合利息相当額を給付(実質無利息貸与)。<br>※詳細は「トヨタ女性技術者育成基金奨学給付制度のしおり」にて確認してください。          |   |

|    |   |   |                  |   |   |   |                 |
|----|---|---|------------------|---|---|---|-----------------|
| 13 | 2016年度オーストラリア政府奨学金<br>「エンデバー奨学金」              | 職員・学部生<br>大学院生<br>博士研究員                       | 給付               | ※4コースあり、支援金額が異なる。<br>4か月から最長6か月のオーストラリアでの短期研究に対しては<br>24,500豪ドルを限度に給付 | 平成27年6月30日(火)   | ①エンデバー研究フェロースhip:日本で修士・博士課程在籍中の大学院生や博士研究員のオーストラリアでの短期研究支援。<br>②エンデバーエグゼクティブフェロースhip:シニア研究者および優秀な社会人を対象とした1カ月以上の専門能力開発。<br>③エンデバー大学院奨学金:オーストラリアの大学院修士課程・博士課程で最長4年間を支援。   |                 |
| 14 | 交通遺児育英会                                       | 大学生<br>大学院生                                   | 貸与無利子            | 大学生:4,5,6万円より<br>選択<br>大学院生:5,8,10万円より選択                              | 学務部学生支援課<br><br>・大学生(在学)<br>…平成27年11月10日(火)<br>・大学院生(予約)<br>…平成28年1月29日(金)<br>・大学院生(在学)<br>…平成27年6月10日(水) | ・平成27年度に大学に在学している29歳までの学生で、保護者等が道路における交通事故で死亡したり、著しい後遺障害で働けないため、教育費に困っている家庭の子女。<br><br>※詳しくは、ウェブサイトをご覧ください。<br>ウェブサイト <a href="http://www.kotsuji.com">http://www.kotsuji.com</a>   | 可               |
| 15 | CWAJ奨学金                                       | 大学生<br>大学院生<br>留学生                            | 給付               | 150万円～300万円   | CWAJセンター<br>右記<br>①平成27年11月2日～11月12日<br>②平成27年10月23日～11月4日<br>③平成27年11月4日～11月18日<br>④平成27年11月4日～11月18日    | ①CWAJ海外留学大学院女子奨学金<br>②CWAJ外国人留学生大学院女子奨学金<br>③CWAJ視覚障害学生海外留学奨学<br>④CWAJ視覚障害学生奨学金<br><br>※詳細については、CWAJウェブサイトを確認してください。 <a href="http://www.cwaj.org/">http://www.cwaj.org/</a>  | 可<br>(但し、条件あり)  |
| 16 | 小児がん経験者奨学金制度                                  | 大学生<br>(2015年度中に入学)                           | 給付               | 月額4万円   | 認定NPO法人ゴールドリボン・ネットワーク<br>平成27年6月30日(火)  | ・18歳未満で小児がん(悪性新生物)と診断され、自身が罹患したことを理解している方。<br>・平成元年以降に生まれた方。<br>・申請書はホームページよりダウンロードしてください。<br>※詳細については、認定NPO法人ゴールドリボン・ネットワークHPにて確認してください。   |                 |
| 17 | 一般社団法人<br>大学女性協会                              | 条件を参照   | 給付               | 一般奨学生(大学院):20万円<br>社会福祉奨学生:学部生10万円・<br>院生20万円<br>安井医学奨学生:30万円         | 学生支援課<br>8月17日(月)<br>※選考の可能性があるので<br>早めの提出をお願いいたします   | ・一般奨学生:大学院在籍1年以上の女子学生で、学業人物ともに優れた者<br>・社会福祉奨学生:学部・大学院に在籍1年以上の女子学生で、身体に障害がある者<br>・安井医学奨学生:大学院に在籍1年以上の女子学生で、医学・薬学を専攻し、学業人物ともに優れた者<br>※履歴書等はホームページからダウンロードして使用してください。各大学各部門1名のみ推薦のため学内選考の可能性あります。<br>※推薦書については、指導教員へ記入を依頼してください。奨学金担当者欄については空欄でかまいません。 |                 |
| 18 | 『Kiyoo Sakaguchi奨学金』奨学生<br>(ブルデンシャル生命保険)      | アメリカの大学や大学院<br>にて数学科目の専攻を希望する大学生              | 給付               | 留学中の授業料(最大4年、<br>上限300万円/年間)  | ブルデンシャル生命保険HP上の<br>『Kiyoo Sakaguchi奨学金』へアクセスし、<br>エントリーフォームを入力<br>募集期間:8月末日                               | ・アメリカの大学(院)に留学し、数学専攻を希望する大学生<br><br>・1次選考:書類選考、2次選考:面接<br>・エントリーフォーム入力時に小論文の記入あり[米国大学への留学希望理由と将来の抱負(800字程度)]  |                 |
| 19 | 一般財団法人<br>東和食品研究振興会<br>森記念奨学金事業<br>(東洋水産株式会社) | 大学、大学院にて食品科学を専攻、研究するもの                        | 給付               | 月額3万円(1年間)  | 学生支援課<br>9月18日(金)<br>※大学で取りまとめて郵送のため<br>早めの提出をお願いいたします  | ・日本国内の大学第2学年以上、大学院(修士課程・博士課程)に在学し、食品科学に関する分野を専攻、研究しているもの。原則4月現在の年齢が大学生満23歳以下、大学院生満33歳以下。<br>※応募者多数の場合、「 <b>経済的状況から学業の継続が困難である可能性の高いものを優先して奨学生として採用する</b> 」という基準があります。<br>※今年度が初年度のため応募書類の提出期限が遅くなっていますが、給付は4月に遡ります。                                 | 可               |
| 20 | 帝人久村奨学生                                       | 大学院(博士課程)                                     | 貸与無利子<br>(条件付給付) | 月額10万円  | 学務部学生支援課への提出期限<br>平成27年9月18日(金)<br>直接帝人奨学会へ申し込みされる<br>場合は平成27年9月30日(水)                                    | 卒業後に帝人奨学会指定の大学や研究機関等で学術研究活動に所定期間従事した場合には返還が免除されます。<br>・採用には経済的な困窮度よりも成績・研究に対する熱意や取り組み内容を重視します。<br>※この奨学金を受給したことによる帝人(株)への入社等その他の付帯義務はありません。<br>※詳しくは、ウェブサイトをご覧ください。   | 可               |
| 21 | (財)沖縄県国際交流・<br>人材育成財団<br>(大学生追加募集)            | 大学生   | 貸与無利子            | 学部生:月額4万5千円   | (財)沖縄県国際交流・<br>人材育成財団へ直接応募<br><br>平成27年10月16日(金)まで  | ・沖縄県内に住所を有する子弟で、国内の大学・大学院に在学している者。<br>ただし別科生、専攻科生、通信教育生、選科生、聴講生、科目等履修生、留年中の者は除く。<br>・日本学生支援機構、地方公共団体若しくは、民間育英団体等からの奨学金又は母子及び寡婦福祉法による修学資金の貸与を受けていない者。<br>※詳細はホームページをご覧ください。 <a href="http://www.oihf.or.jp/">http://www.oihf.or.jp/</a>              | 併願は可<br>(併用は不可) |
| 22 | ヤマハ発動機<br>スポーツ振興財団<br>『スポーツチャレンジ助成』           | 満16歳以上のグループ・<br>団体                            | 給付               | 1件に対し100万円まで  | ヤマハ発動機スポーツ振興財団<br>平成27年11月17日(火)  | 体験助成、研究助成あり。<br><br>※詳しくは、ウェブサイトをご覧ください。<br><a href="http://www.ymfs.jp">www.ymfs.jp</a>  |                 |
| 23 | ヤマハ発動機<br>スポーツ振興財団<br>『国際スポーツ奨学金』             | 大学生<br>大学院生<br>留学生                            | 給付               | 月額10万円  | ヤマハ発動機スポーツ振興財団<br>平成27年11月17日(火)  | 海外留学生奨学金、外国人留学生奨学金あり。<br><br>※詳しくは、ウェブサイトをご覧ください。<br><a href="http://www.ymfs.jp">www.ymfs.jp</a>   |                 |
| 24 | ヤマハ音楽支援制度<br>「留学奨学支援」                         | 2016年4月現在で<br>18歳以上30歳以下で<br>演奏家・作曲家を目指す<br>者 | 給付               | 月額10万円  | 2015年12月1日～22日<br>Webエントリー  | 音楽奨学支援:10人程度<br>優れた音楽能力を有し、将来音楽分野で活躍が期待できる若手音楽家への支援   |                 |
| 25 | ヤマハ音楽支援制度<br>「音楽奨学支援」                         | 2016年4月現在で<br>13歳以上20歳以下の<br>音楽家・音楽学習者        | 給付               | 月額10万円  | 2016年1月5日～25日<br>Webエントリー   | 留学奨学支援:5人程度<br>海外の留学機関に留学し、演奏家・作曲家を目指す人への支援   |                 |

|    |  |   |                  |  |   |   |   |
|----|--|---|------------------|--|---|---|---|
| 26 | 社会福祉法人<br>さぼりと21<br>「坪井一郎・仁子<br>学生支援プログラム」 | 2016年度において大学3<br>年生以上または大学院<br>(修士・博士課程)在籍の<br>者<br>※進学見込みでも応募可 | 給付               | 学部生<br>年額40～80万円<br>大学院生<br>年額60～100万円                         | 社会福祉法人 さぼりと21<br>平成27年12月11日(金)必着                 | ・日本在住の外国籍・元外国籍の学生で、下記の①～③のいずれかに該当する学生。<br>①インドシナ難民・条約難民およびその子弟。<br>②中国帰国者子弟および日系定住者とその子弟。<br>③上記①と②と同等の事情があるとみなされる、外国籍・元外国籍の学生。<br>*留学生ビザの学生は支援の対象となりません。<br>・給付期間:2016年4月～2017年3月  | 可   |
| 27 | 社会福祉法人<br>さぼりと21<br>「生活支援プログラム」            | 主な条件参照  | 給付               | 学部生<br>年額12～36万円   | 社会福祉法人 さぼりと21<br>平成28年1月29日(金)必着                  | ・日本在住の外国籍・元外国籍の学生で、下記のいずれかに該当する方。<br>インドシナ難民・条約難民およびその子弟・中国帰国者子弟および日系定住者とその子弟。<br>※上記と同等の事情があるとみなされる、外国籍・元外国籍の学生は対象。留学生ビザの学生は支援の対象<br>となりません。<br>・学費の負担が困難な方<br>・給付期間:2016年4月～2017年3月   | 可   |
| 28 | 帝人久村奨学生                                    | 大学院(修士課程)   | 貸与無利子<br>(条件付給付) | 月額8万円  | 直接帝人奨学会へ申し込みされる場合<br>平成28年3月14日(月)                | 卒業後に帝人奨学会指定の大学や研究機関等で学術研究活動に所定期間従事した場合には返還が免除され<br>れます。<br>・採用には経済的な困窮度よりも成績・研究に対する熱意や取り組み内容を重視します。<br>※この奨学金を受給したことによる帝人(株)への入社等その他の付帯義務はありません。<br>※詳しくは、ウェブサイトをご覧ください。  | 可   |
| 29 | 公益財団法人ソロプチミスト<br>日本財団<br>「学生ボランティア賞」       | 個人または団体   | 副賞               | 1件につき15万円  | 学務部学生支援課<br>平成28年3月31日(木)                         | ・学生ならではの視点でボランティア活動を継続的にを行い、誠実に責任を果たしている学生をたたえる賞。<br>・応募は個人でも団体でもどちらでも可能です。   |   |
| 30 | 松尾金蔵記念奨学基金                                 | 大学院生<br>(留学生は対象外)   | 給付               | 年額 100万円   | 学務部学生支援課<br>平成28年4月14日(木)                         | 平成28年4月現在、修士課程及び博士課程1年次の大学院生で、文学・哲学(宗教学、美学、美術史を含む)<br>・言語学、人文地理学、文化人類学、教育学、心理学、社会学、史学等(経・法を除く人文社会)を学ぶ以下<br>に該当する者。<br>・平成28年4月1日現在、30歳以下の者。<br>・修士:家族の生計を支えるものの前年度年収又は本年度の見込みが原則800万円以下。<br>・博士:本人の前年度年収又は本年度見込みが原則250万円以下。<br>・日本学生支援機構を含む、他の奨学金を受給していない者(併願は可だが、採用後はどちらか一つを選択す<br>ること)。   | 併願は可<br>(併用は不可)   |
| 31 | IBPグローバル留学奨学金                              | 18歳以上の学生  | 学費免除             | 特待生:学費・滞在費の免除<br>準特待生:学費免除<br>優待生:学費一部免除                       | ICC国際交流委員会<br>平成28年4月21日(木)必着<br>オンライン、メール、郵送のどれか | ワシントン大学、ウエストミンスター大学、ベルビューカレッジ、グリフィス大学への留学。期間は2016年秋、<br>2017年春または秋から1年間。<br>・第1次選考/書類選考・第2次選考/筆記試験(英語)、面接(日本語)※留学先により応募基準が違います。<br>※詳しくは、募集要項、ホームページをご覧ください。  |   |
| 32 | 公益財団法人<br>日本通運育英会奨学生                       | 大学生<br>(1,2年生のみ)  | 貸与無利子            | 自宅からの通学者<br>月額1万5千円<br>自宅以外からの通学者<br>月額2万円                     | 日本通運育英会事務局<br>平成28年4月20日(水)必着                     | ・無利子の貸与奨学金  | 可   |
| 33 | 一般社団法人<br>イハラサイエンス夢創造支援<br>センター奨学生         | 平成28年4月1日現在<br>工学部・教育学部<br>地域科学部の3年に在籍<br>するもの                  | 給付               | 月額2万円<br>(給付期間:2年間)  | 学務部学生支援課<br>平成28年5月16日(月)                         | ・学業・人物ともに優秀で、経済的な事情により修学が困難であると認められるもので、2016年4月1日現在で<br>岐阜大学3年生に在籍する工学部・教育学部・地域科学部の学生。<br>・「ものづくり」に関心があり、将来も「ものづくり」に夢や想いを持って関わっていききたいという意欲を持つもの。<br>・給付期間は最短修業年限の最終期まで。2年間を限度とします。<br>・募集については岐阜大学で1～3名程度。応募人数が大幅に多い場合は、日本学生支援機構の第一種採用<br>規定に基づいて学内で選考する場合があります。  | 可(ただし、日本<br>学生支援機構<br>の奨学金貸与を<br>受けている場合<br>は受給者証明<br>書の写しの提出<br>が必要) |
| 34 | (公財)沖縄県国際交流・<br>人材育成財団                     | 大学生<br>大学院生   | 貸与無利子            | 学部生:月額4万5千円<br>院生(修士・博士前期)<br>月額7万円<br>(博士後期、博士医・獣医学)<br>月額8万円 | (公財)沖縄県国際交流・<br>人材育成財団へ直接応募<br>平成28年4月15日(月)まで    | ・沖縄県内に住所を有する子弟で、国内の大学・大学院に在学している者。<br>・日本学生支援機構、地方公共団体若しくは、民間育英団体等からの奨学金又は母子及び寡婦福祉法による<br>修学資金の貸与を受けていない者。<br>※詳細はホームページをご覧ください。 <a href="http://www.oihf.or.jp/">http://www.oihf.or.jp/</a>  | 併願は可<br>(併用は不可)   |
| 35 | 鷹野学術振興財団奨学生                                | 「科学技術関係」を<br>選考している大学生<br>・大学院生                                 | 給付               | 年額 60万円<br>(給付期間:1年間)  | 本人郵送の場合は<br>5月16日(月)必着                            | ・国内の大学の大学生・大学院生で「科学技術関係」を専攻している学生<br>→平成28年4月1日現在大学1年生～3年生(6年制は5年生まで)もしくは大学院修士課程の1年次に在籍<br>【科学技術の範囲】:電気電子工学、光学、画像処理、機械工学、物理学、情報工学、材料科学、化学関連、<br>医療機器関連、健康福祉関連、環境エネルギー関連、農学・機能的食品等<br>・卒業後に製造業への就職を希望しているもの。<br>・日本国籍を有していない方の場合は、日本語の読み書きに習熟していること。<br>・対象の分野:化学・食品科学、芸術学、体育学、経営学を専攻する学部3、4年生、大学院生。<br>・奨学金は給付。返還の義務なし。<br>・卒業後の就職、その他一切については、本人の自由とする。<br>・給付期間は1年間を限度とする。<br>・申請には指導教員の「推薦状」を必要とする。<br>・奨学生は財団の行う交流会に参加しなければいけない。<br>・給付のため返還の義務はありません。<br>・保護者の住所が岐阜県内にある方。<br>・経済的な理由により大学におけるゆとりある修学が困難な方(父母の収入が概ね400万円以下)。<br>・岐阜を愛する気持ちがある方。<br>※学内選考の可能性あります。 | 不可  |
| 36 | 一般財団法人<br>戸部眞紀財団<br>(大塚ホールディングス(株))        | 対象分野の学部<br>(3,4年生)<br>及び大学院生                                    | 給付               | 月額5万円:1年間<br>(年額60万円)<br>(他給付を受けている場合は<br>年額30万円)              | 本人が提出書類を揃え、<br>財団宛に郵送しなければいけない<br>平成28年5月6日(金)必着  | ・奨学金は給付。返還の義務なし。<br>・卒業後の就職、その他一切については、本人の自由とする。<br>・給付期間は1年間を限度とする。<br>・申請には指導教員の「推薦状」を必要とする。<br>・奨学生は財団の行う交流会に参加しなければいけない。<br>・給付のため返還の義務はありません。<br>・保護者の住所が岐阜県内にある方。<br>・経済的な理由により大学におけるゆとりある修学が困難な方(父母の収入が概ね400万円以下)。<br>・岐阜を愛する気持ちがある方。<br>※学内選考の可能性あります。  | 可   |
| 37 | 一般財団法人<br>岐阜杉山記念財団                         | 学部生   | 給付               | 給付期間:1年間<br>30万円   | 学務部学生支援課<br>平成28年5月13日(金)                         | ・奨学金は給付。返還の義務なし。<br>・卒業後の就職、その他一切については、本人の自由とする。<br>・給付期間は1年間を限度とする。<br>・申請には指導教員の「推薦状」を必要とする。<br>・奨学生は財団の行う交流会に参加しなければいけない。<br>・給付のため返還の義務はありません。<br>・保護者の住所が岐阜県内にある方。<br>・経済的な理由により大学におけるゆとりある修学が困難な方(父母の収入が概ね400万円以下)。<br>・岐阜を愛する気持ちがある方。<br>※学内選考の可能性あります。  | 可   |

|    |              |                                     |                             |   |   |   |  |
|----|--------------|-------------------------------------|-----------------------------|---|---|---|--|
| 38 | トヨタ女性技術者育成基金 | 2016年度工学部1年生に在学する女性又は高専から編入した3年生の女性 | 卒業後の進路によって全額給付, 半額給付, 無利息貸与 | 大学卒業後の就職: 240万円<br>大学院(修士)卒業後の就職: 360万円 | 一般社団法人トヨタ女性技術者育成基金奨学給付窓口<br>平成28年5月20日(金) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学業成績優秀で、将来ものづくりに関わる女性技術者として、また良識ある社会人として活躍していく意欲、熱意のあるもの。</li> <li>・基金賛同企業が実施する育成プログラムに参加できる方。(申し込み時に1社を選択し、研究施設等見学・懇談会・インターンシップ等に参加することになります。)</li> <li>・対象会社入社時は実質返済免除、製造会社(労災保険利率表が「製造業」に分類)入社は元金の半額を給付、それ以外の場合利息相当額を給付(実質無利息貸与)。</li> </ul> |  |
|----|--------------|-------------------------------------|-----------------------------|---|---|---|--|